



寝取
妻

許して
と

この
不倫
は夫
のため
あなた、

1

ころすけ

この女は夫への
愛裏切り
か



完全版

私
は
エロマンガ鳥

誰か教えて欲しい…

これがもし本当に愛ならば…

教えて欲しい…

そして

見て欲しい

彼への愛が
そうさせるの
ならば…

私の愛は
壊れている…

私の愛が…

愛というものに
ついて…

スウッ

セクショナル

壊れてしまった理由を…

高橋知之先生祝賀会

それでは本日の
主役である――

高橋知之先生に
ご挨拶をいただき
ましょう！



『愛とエロス』を
追及したもので
あり――

この小説のテーマは
ズバリ……

ええ本日は……



――であれば
幸いでございます



それでは皆さま
パーティを
楽しんで
くださいませ



私のようなもののために
こんな豪華なパーティを
開いていただき恐縮の限りです

普段は自室にこもってばかり
いるものですから今緊張で
手が震えております



おい三浦!

なーにサボってんだ?

サッ



やっぱり高橋先生って
素敵だなあ...

いいなあ私も受付
じやなきや先生を間近に
見られるのに...



.....えっ!?

えっ? あ!!

鶴野さん!

すみませんつい...

セクゾ



ファンだって
言ってたろ?

近くで
見て来いよ



いいよ

しばらく受付け
代わってやるから
行ってきな

ええっ...
どうせ...



あっ...
ありがとう
ございます!!





はいどうぞ
三浦さん

ズッ

ありがとうございます
ごさいま...



貸して...

キュッ
キュッ



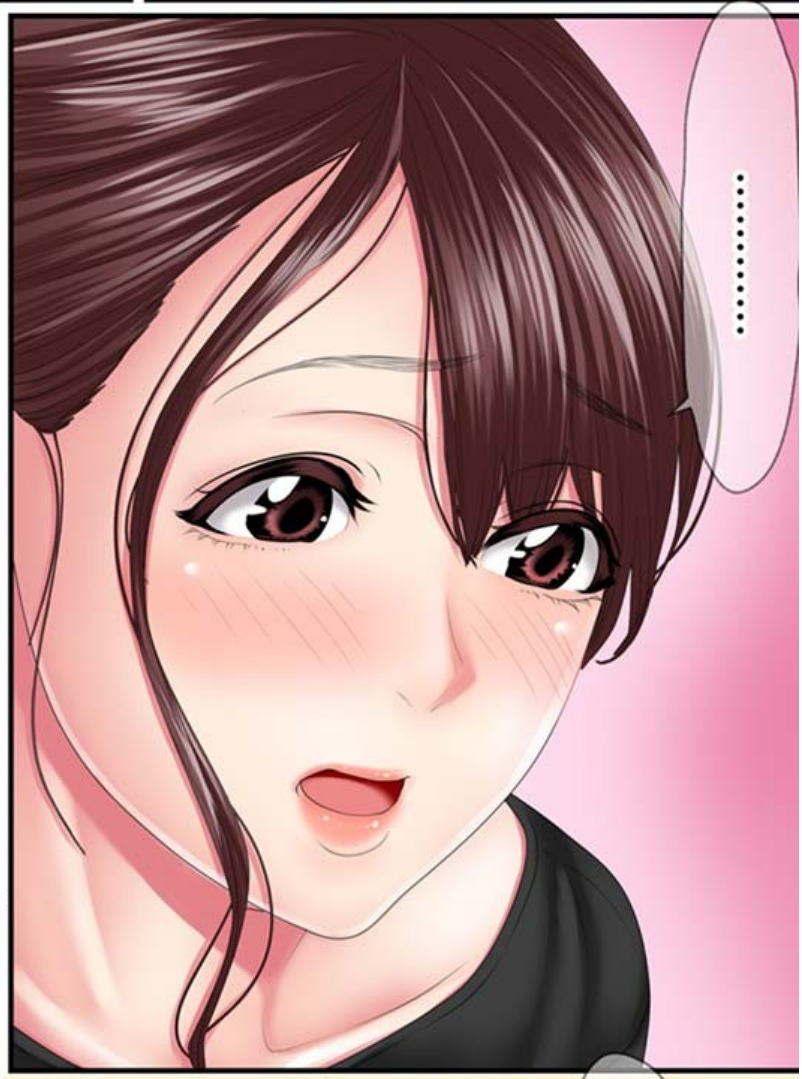
名前...
呼ばれた...

知ってるんだ
私新人で1年目の
事務員なのに...

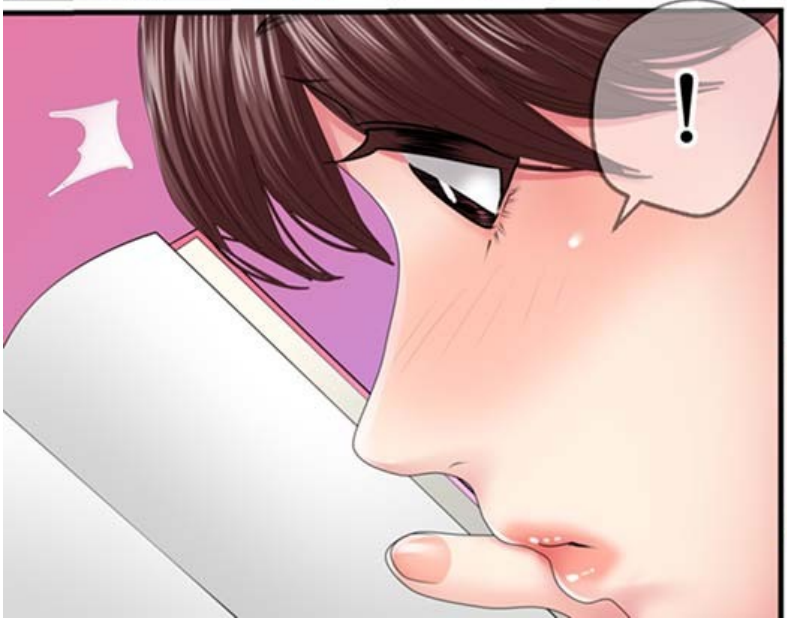


嬉しい...

サインも
もらえたし...



.....



!



次は私の
お願いしますー!!

キャー

私と写真
撮って
ください!!

キャー



その日から……



私は憧れの
高橋先生と連絡を
取り合っようた
なった



やがて先生とプライベートで会うようになった

先生は過激な小説の内容とは裏腹に素朴で誠実で...



青春のほとんどを読書に費やした私にはとても話の合う人だと感じた

そっか...



何度か逢っているうちに

あのさ... 雪音ちゃん...

...はい?

お互いの気持ちに気づいた

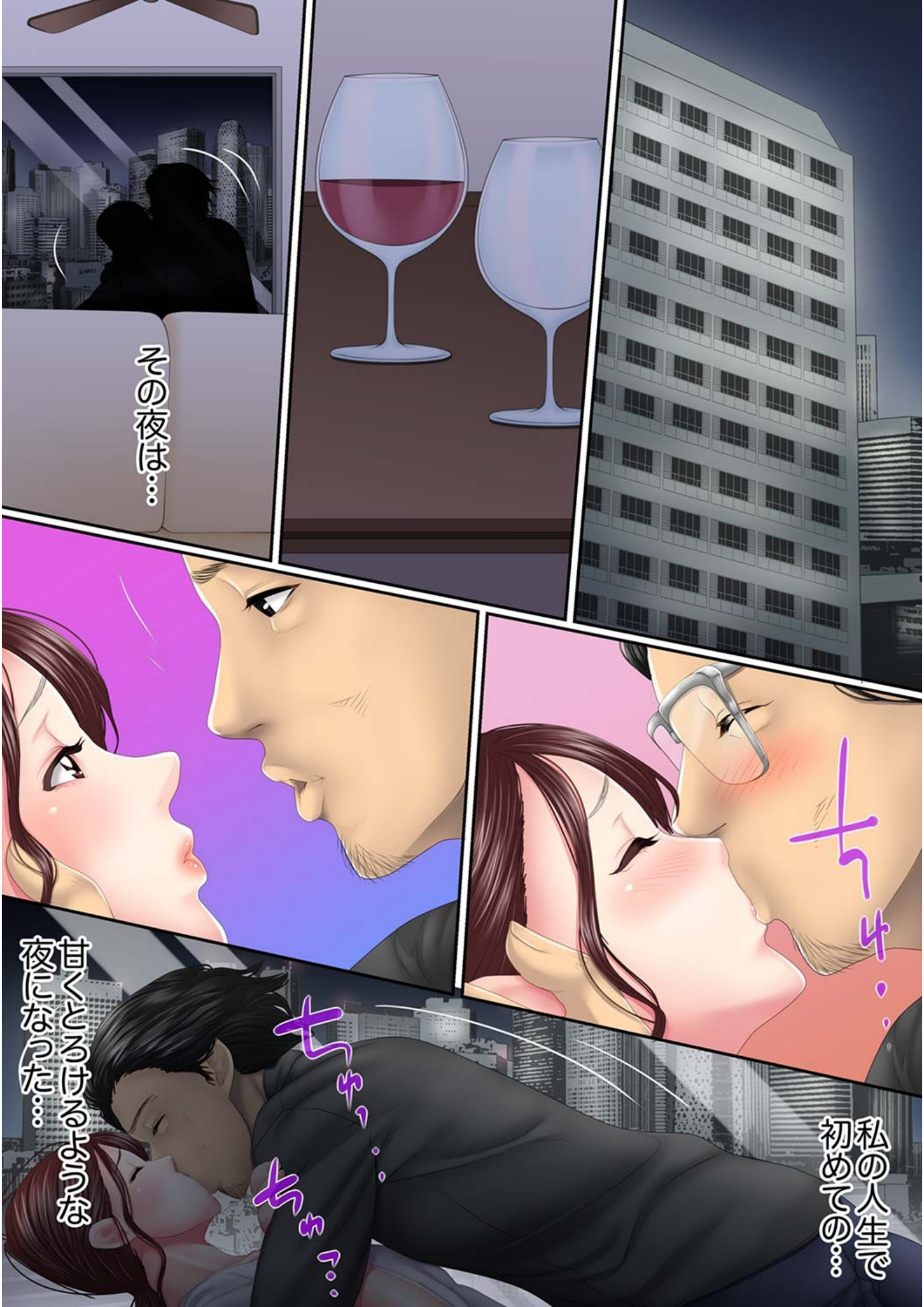


は...

...はい



この後うちに来ない?



その夜は...

甘くなるけるような
夜になった...

私の人生で
初めてのの...

ま待って…
ください先生…

面倒くさい女って
思われるかも
しれないんですけど…

ひとつだけ…
聞かせてください…

…何…?

あ…あの…

あの…

先生にとつて…
私って何ですか？

ごめんなさい！私…
先生の大ファンだから！
…

だからこれも…
その…先生の経験の
一部として…

ただの本の一部に
なるだけだったら
どうしようって…

作家の経験と
作品の内容はね…

…そっか
本心を話してくれて
ありがとう

じゃあ僕も本当の
ことを話そう

残念だけどボクの場合
は特に…

妄想が9割
ってところだね
…嫌かい？

ウソだ…
でも…

こ怖くて…

必ずしも比例する
ものじゃないんだ

ブルブル



嫌じゃないです…



夫婦となった

おめでとう！

おめでとう！！



それから程なくして私達は…



数年後…



私は高橋先生との結婚を機に会社を辞め
専業主婦として過ごしていた

はあ…

よし

洗濯物終り

しかし私たちの
夫婦生活は…

おはよう…

へたん

キーン

決して順調ではなかった

のん



他に何かお手伝いできることはありますか？

ポッポッ

うーん…



いやー全く…

そうですか…

あお食事そこに用意してますから…



あおはようございます！

知之さん

夕べはお仕事捗りました？



公園行って…

ネタ考えて来る



え？なんですか？

雪音ちゃん今日さ
多分担当さんが来るから…



ケーキ買って来るよ

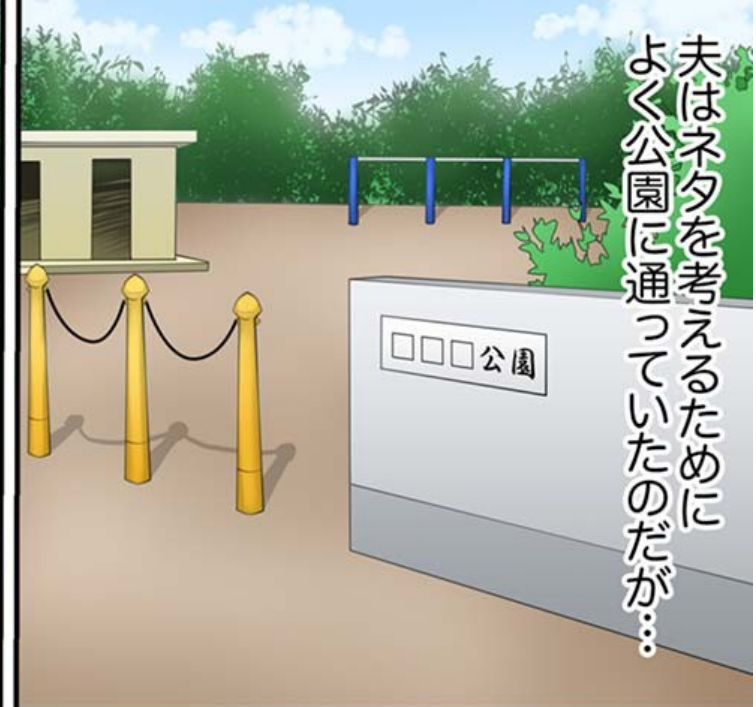
雪音ちゃんの好きなモンブラン



あゝ知之さん！
おうちのなかで吸っちゃ…

担当さん
来たら適当に
言っておいて

夫はネタを考えるためによく公園に通っていたのだが...

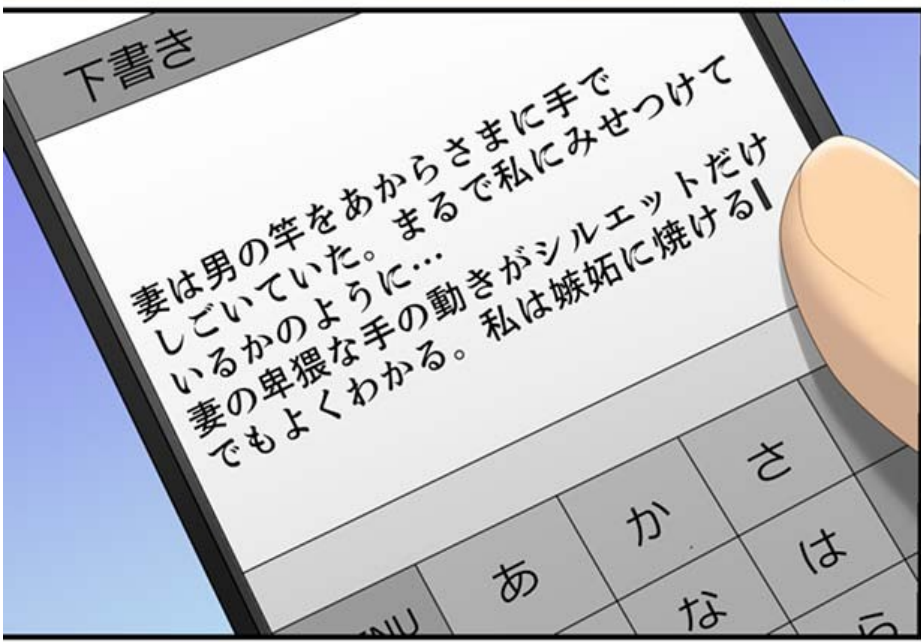


ここ数年はヒット作が出ず収入も減っていたためか



キーン... キーン...

焦りという立ちでいつしか回数も減り暗い性格になりつつあった...



下書き

妻は男の竿をあからさまに手でしごいていた。まるで私にみせつけているかのよう... 妻の卑猥な手の動きがシルエットだけでもよくわかる。私は嫉妬に焼ける！

あ かな さ は



そして夫婦関係もどこかギクシヤクシ始めていた頃...

カカカ...

はい...





おう好きって
言ってただろ？

えー言いましたっけ？

会社にいた
頃な

へえ！覚えてて
くれたんですね！
嬉しいです！

そして4年で
編集長になり
この頃には
夫の担当編集も
兼ねていた



わ！
モンブラン♪

鶴野さんは私がいた
当時から社内イチの
敏腕編集者で
頭の切れる人だった



どうって…あ…
やっぱり今仕事うまく
いってないんですか？

担当さんがうちに
直接来るくらい
だから…



…あのさ雪音に
こんなん聞くのも
あれだけど…

先生って最近どう…？



知之さん
自分の事全然
私に話してくれ
ないから…

ずっと書齋に
籠ってはい
るんですけどね…



まあ落ち込み
気味ではある
かな…

つか原稿も
あがつてきて
ないんだよ

ひゃー!!
ごめんなさい!!



さっきから
何度もメール
送ってはいるん
ですけど…

反応なくて…



知之さん帰って
来ないな…

もう1時間
経つのに…



かわいいよな

相変わらず…

……えっ？……



もう一回
送って
みますね…

……



……雪音

お前ってさ……



.....
.....
.....



持ってたら
助けられるん
でしようけど...



私が

ネタになるような
話のひとつやふたつ



ああの...そのつ...

知之さん...

帰りが遅いですね...
ネタが浮かばないんで
しょうか...





鶴野さん...

何を...んっ!!...

んんっっ!!...

どうして...

やめて くださいっ...

どうして こんなことっ!!...

...っっ...

高橋先生な…
実はもう崖っぷち
なんだよ

っっ!!

売れ行きも新作を
出す度に落ちてる

!!

本人からも
書きたい意思が
伝わってこない

悪いけど…

次で売れなきゃ
ウチで執筆してもらう
ことは難しい

そ…んな…

『先生を助けたい』…

お前も言ったろ？
『ネタがあれば』…

俺も同じだ!

だから…



これは先生の
ためだ！

嫌あつ！！

あはあ



俺とお前でっ！！...

！！



止まんねーわ...

悪い...



ダメ！
そこは...

ダッ...



あつ！

あう...

何もっ...

ないんだったら...

作れば
いいじゃ
ねーかよ...



ネタの出どころは人に聞いたても何でもいい...

お前の体験を先生に話して売れる本を書かせる...



ここから先は俺次第... お前次第だ...



わかるよな? 雪音...

もう先生は後がない...



あ...あ...ダメです... 鶴野さん...

それだけは...

あっ...あっ!



それが先生のためだ!







あはっ…

あっ

あっ

あ—!!



感じてんじゃん…

…とか言って…

雪音…



ダメっ…

ダメええっ…



あ…やつは鶴野さん
来てたか…

ふうふう…



ただいま



くっ...



お疲れ様です!



外に.....

外に...



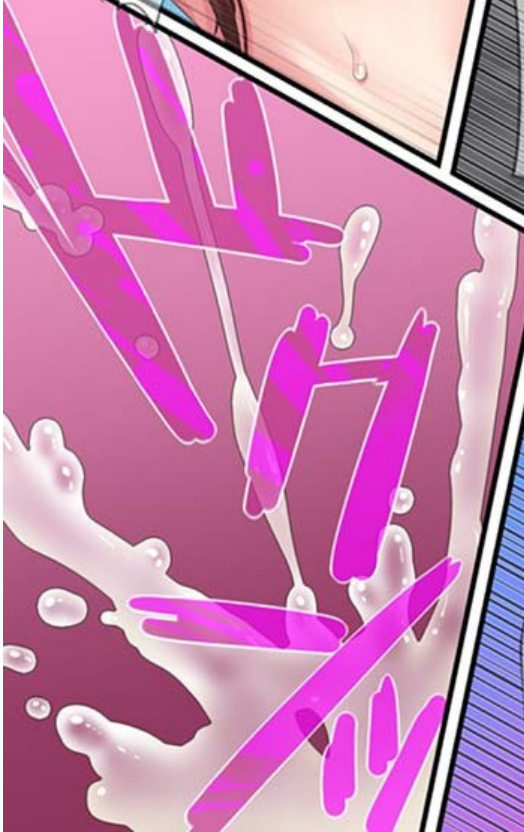
出すぞ
雪音...!!

やつ...

ダメ...!!
ダメです鶴野さん!...

あはあっ!...

つつ!!...





あああ
——つつつ!!

あ…

あ…

やだ…
やだあ…



ダメえええつつつ!!



マズい!!

ガ
4
+
+



な…中に出す
なんて…



んあつ…!



帰ってきた!

服を元に
…!!



ひひひ…

こんなの…

鶴野さん!

ごめんね!

4+3+2+1...

遅くなっちゃって...

いえいえ
お帰りなさい先生

大丈夫ですよ
雪音さんと久々に
昔の話で盛り上がって
いたところですよ!

おお帰りなさい
知之さん...

では打合せ
始めましょうか

今日は先生の為に
沢山時間を取って
来ましたから

じゃじゃあ
私はこれで...

席を外し
ますね!

今日は雪音さんも
一緒に打合せを
お願いします

いや雪音さん...

えっ...

High Fidelity



何でまた…

雪音ちゃんもっ…



…!?…



な何言ってるの？
鶴野さん…

わ私も
ですか…?



言うね
鶴野さん…

………!!



先生単刀直入に
言わせていただきます

先生もご承知でしょうが
最近先生の作品に
ヒットが出ていない



ご理解いただけ
ますね…?

………



是が非でも
次でヒットを出して
いただきたいんです

ですがこのまま先生に
専属契約料をお支払いし
続けるには

これまで私達もできるだけの
尽力をさせていただいた
つもりです





こう言うっては何ですが
先生のスタイルは
もう古いんです

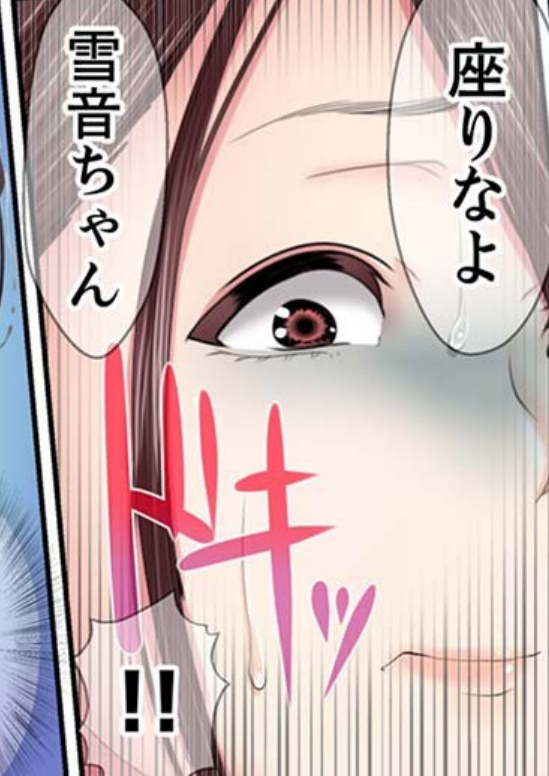
こだわりの持つのは
いいのですが
それではコアな
ファンにしか受けない



新しいファンを獲得する
ためには時に枠から
外れることも必要だと
僕は思う

僕らは長年やってきて
固定概念に縛られている
と感じるんです…

そこであえて
編集経験のない
雪音さんにも
意見を出して
いただきたい…



どうで
しょうか？

座りなよ

雪音ちゃん

断って…

断って
知之さん!!

そんな…
うそ…

…
…
…



何を考えているの...!?

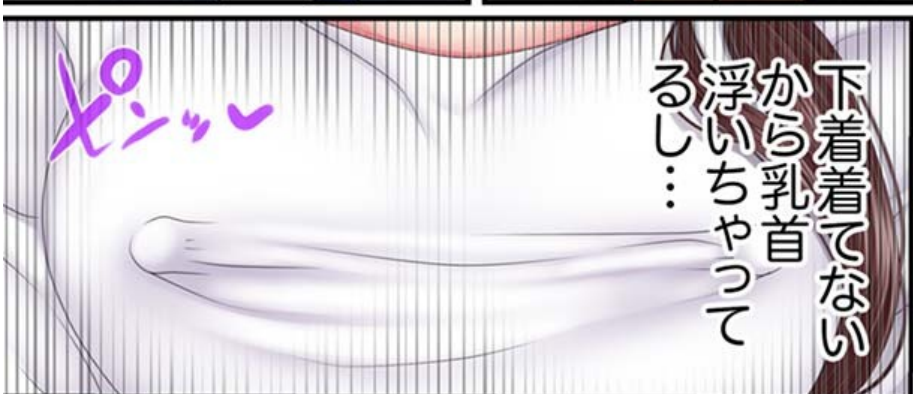


どうしてわざわざ知之さんにバシッような状況に...!?

じゃじゃあ...失礼します...

一体...

ス...



下着着てないから乳首浮いちやつてるし...

ポンッ



いん いん

アソコからは鶴野さんのが流れ出てきてる...!!



何よりヤバいのは...



マズいよ...

さっきので身体がまだ反応してる...!!

もじ

もじ

もじ

治まってる...!!

ソファの下…!!

見られたら
お終いだよおお!!



さあ

それじゃあネタを
考えましょう!



何か次回作の
アイデアは
ありますか?

そあ…



そうですね…

アイデア…

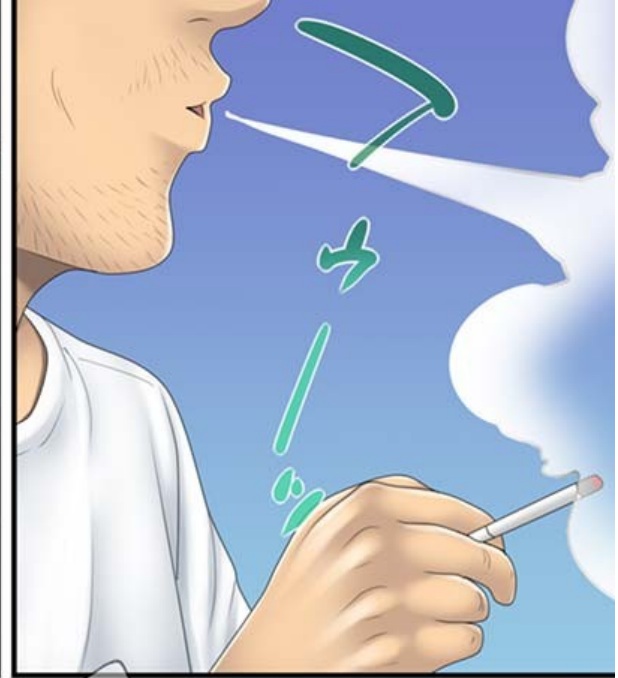


これはどうでしょう?

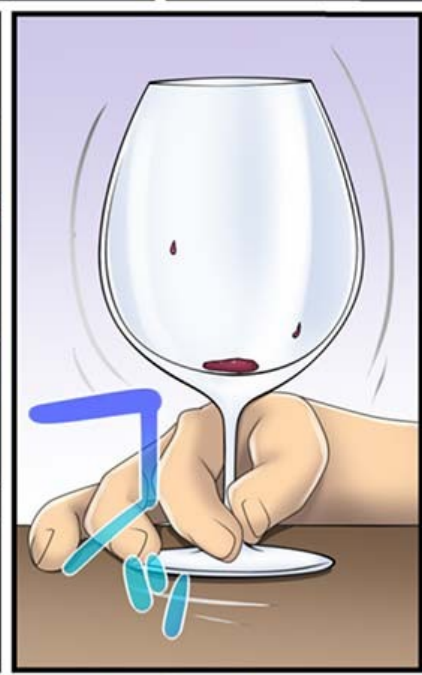
まだ先生が挑戦した
ことのないジャンル
なんです…



不倫もの!…とか









飲みすぎですよ
知之さん!

…ん?

あめの…!

だいたいさ…

その辺にした
方が…



たまには
いいだろ?

めったに
飲まないん
だし…

ポポポ!



じゃあ…

雪音ちゃん
飲む?



雪音ちゃんが
飲まないなら
僕が飲む…



えっ? いや私は…

弱いです
から…



…もう…

一杯だけ
ですよ?…

いつもなら
断るけど…

今日は…

飲まなきゃ
間が持たないよ…！

しゅしゅ

この気まねおじ…

罪悪感を消したい…！

……



おしゅ…おじゅ

Night
Tide

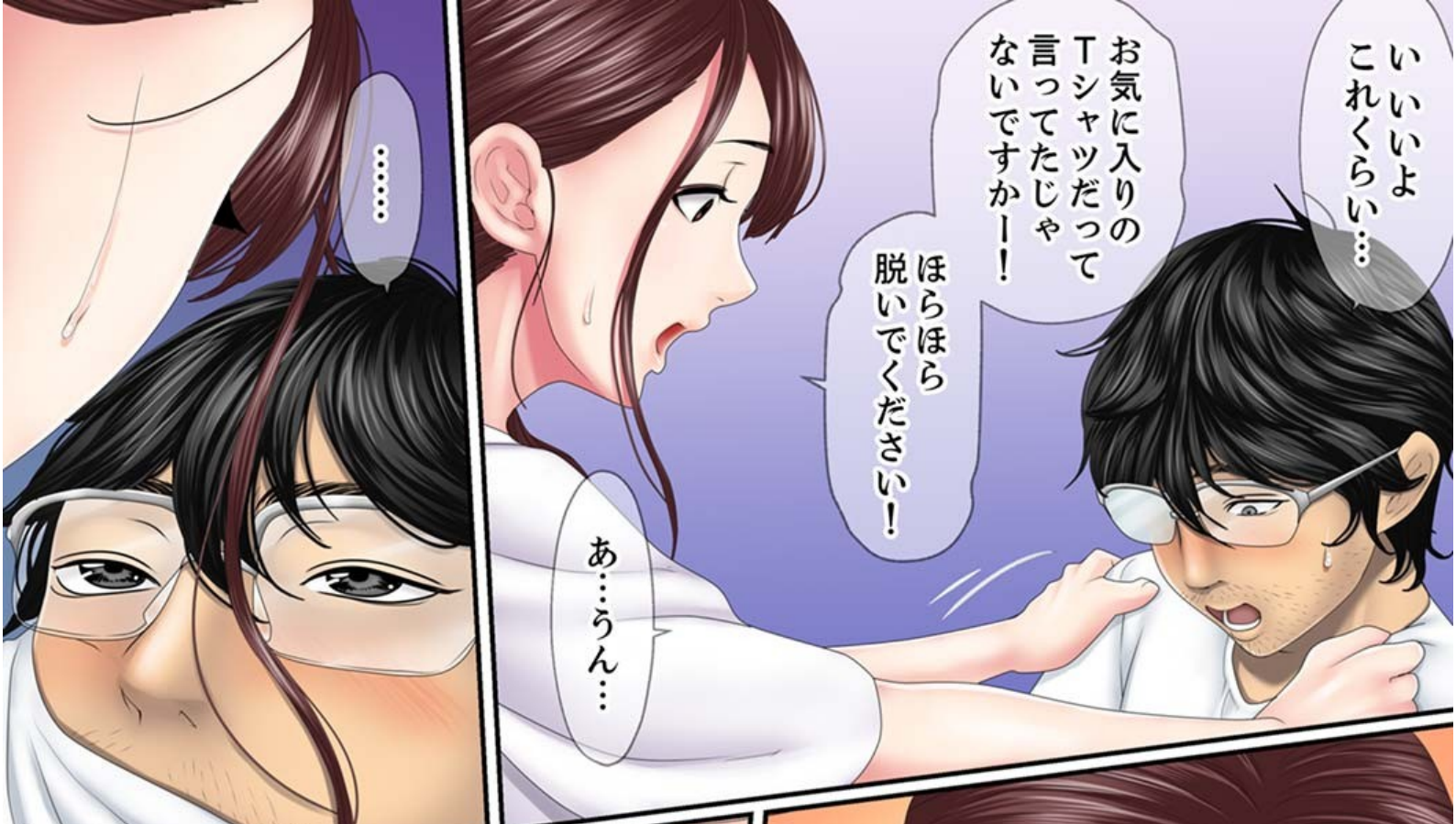
あ…

やっちゃった…

カマッ

あっすぐに
洗えば落ちますよ！





いいいよ
これくらいい...

お気に入りの
Tシャツだつて
言つてたじゃ
ないですかー!

ほらほら
脱いでください!

あ...うん...



.....



雪音
ちゃん...

んっ?

んんっ?

知之さ...



セックス
しよう...

でも
Tシャツは...

いいって...
そんなの...



んっ...

ん...

つきやああつ!!

と知之さんっ?

大丈夫ですか…

僕たちさ…

したことない
だろ…?…

こういう映画
みたいなセックス…

たまには
いいだろう?

知之さんに
身を任せて…

ひゅっ!

昼間あったこと全部…

あっ…あ…

忘れてしまおう…





んあああつっ!...



めったに飲まないお酒を
飲んだからか...

ズッ
ズッ
ズッ



そもそも夫との
セックス自体が久々
だったせいかな...

あー



旦那のことが
あったせいかな...



あっ!
あっ!

あっぱれ...

夫らしくない
乱暴なセックスが



あっぱれ...





えっ？...

もう一回
ですか...？

あああ〜

すすごい...
知之さん...!!

知之さんと結婚して数年...



お互いを
求めた...



こんなに燃えた夜は
初めてがもしれない...

何かのスイッチが
入ったかのように...



今日鶴野さんに
言われたこと考えててさ…

…!!

シヨックだった
って話だけど…

ゼッ!

彼の言うことも
一理あると思ったんだ…

ほあ

『俺とお前でネタを
作ればいいだろっ?』

ほあ

僕は何年も
純愛ものばかり
描いてるからさ…

たまには過激な
要素も必要かもな
って…

不安だらけ
なんだけど…



やってみようかな…
不倫もの…

もし良ければ
私の…

ネタになるか
わからないですけど…

ん?…

すっ

友達から口止め
されている話を
しましろうか…?





へえ…どんな？

……
〇L時代の友達
なんですけど…



…？



ふう…
洗濯物
お終い！…

どろろ
〜ン



何？…

ひょひょ

ベランダの外？
下の道路…？

えっ？
あ…



TSURUNO

今、ベランダの外見れるか？

下の道路



鶴野さん…！！



つ 鶴野さん!?



...んで?

先生には何で断って出てきたんだ?

特に：買い物に出かけますって...

ここらいうの困ります!!

夫にいつバレるか...

それがリアルなネタになるだろ?

でも...! バレたら終わりです!...

...ていうかどこに向かってるんですか?

ああ...

見ての通り...

オキッ



いいから
出てこいよ

突然連れて
来られても私…



ああの…
鶴野さん…



鶴野さん!?

ま待っ…
あの…



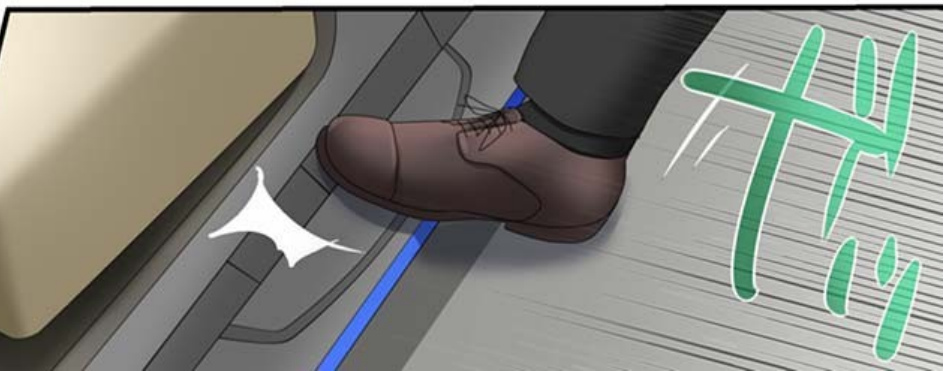
ガ
カリ



ほら

やつ…だから…

私海なんて
別に…



ガ
カリ



…あ



さねるか
思った…

ヤアアア

なそ…そんな
わけ…



固いこと
言うなって

来ちまったん
だし海見て
行けば？

~~~~~  
…



そうします！

怒ってんのか？

怒りません！！

ズンズンズン



どした？  
キスでもされる  
かと思った？



うわ……

すごい……



ザザザ



潮風が気持ちいい……

心が洗われるって  
こういうことかな……

私……何に怒って  
たんだけ……



は裸!!

ば?

と知之さんは  
あんまり海とか  
好きじゃないから  
……



いいだろ?ここ  
俺の秘密の場所  
なんだよ

てか先生と海とか  
行かないのか?

あ……



わー気持ちいい!

海に来るの結婚して  
以来初めてかも!



やつあの…  
べ別に私も  
そんなに…

人が多いのも  
苦手だし！  
……



……そうなのか？

じゃあお前…  
結婚してからマジで  
一回も？…



そそりゃ！…  
5年は来てません  
から！

そんなにつてわりには  
はしゃいでるじゃん



うわあ！鶴野さん  
カニがいますよ！

すっごく小さい！

……



ちよちよと…

ひゃっ！

びしょびしょ！

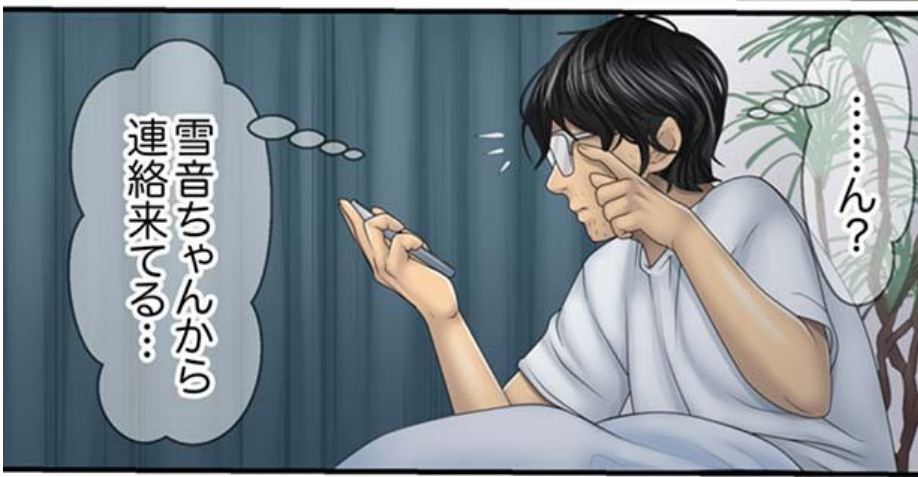
びしょびしょ！



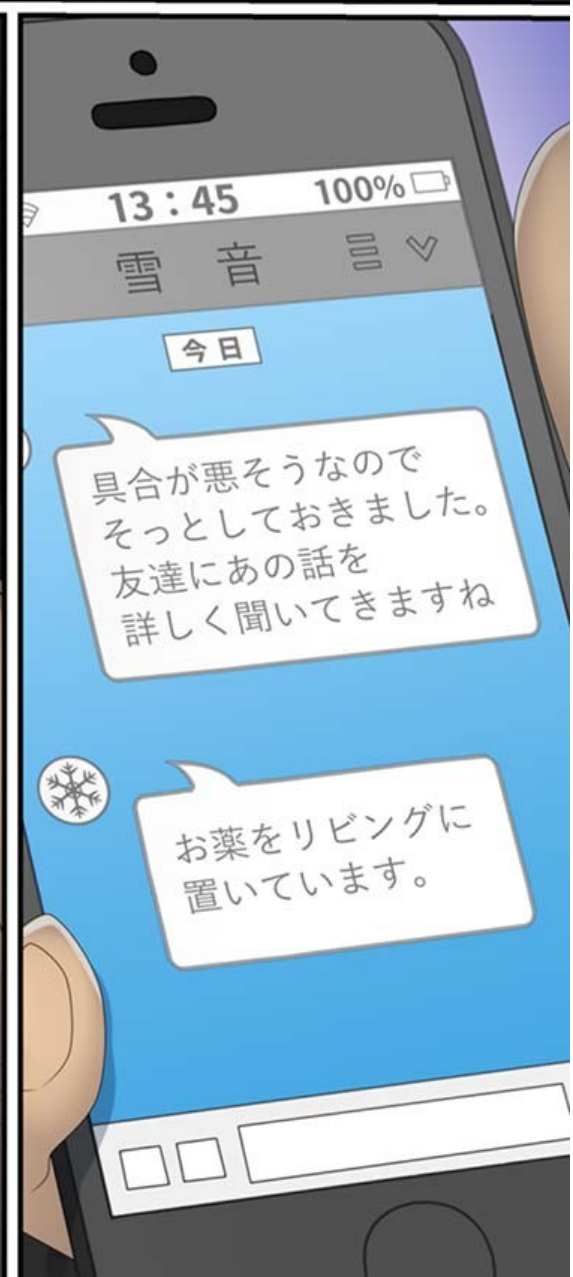
来たからには  
はしゃがないと…

ふーん…





とつと  
友達に  
詳しく





わははは！  
あーあ  
やっちまった  
なー！



きゃああー！

もお、  
鶴野さんの  
せいですよ！



あーもう  
びっしょびしょ！

着るものを買って  
帰らないと…



帰りにどこか  
寄ってくださいね？



着替え代は  
鶴野さんに  
払ってもらい  
ますからねー！



そんじゃそろそろ  
車に戻るか



あああ……

SS+6



キリトリ  
おいしいおかゆ  
熱湯3分  
2食分



ツツ!!



あのとこね…



なんだ？  
騒がし！



ああっ！

ダメえっ！

！！



抜いてっ！

抜いてくださいっ！

あっ！

あああっ！  
ダメええ！！

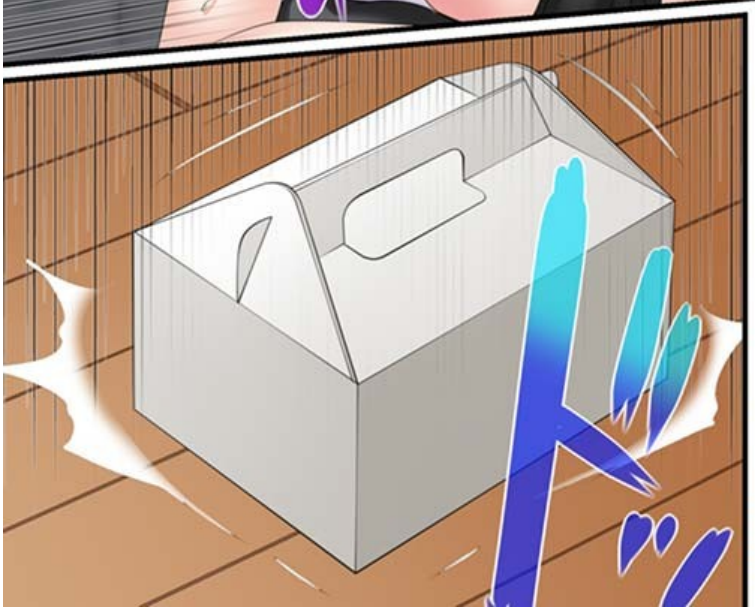
んあっ！



俺は見ってしまった…



ドッ



あいつ!!...俺の妻に...!!

~~~~~!!

何して...

はっ

わかるよな?
雪音...

もう先生は
後がない...

ここから先は俺次第...
お前次第だ...

!!

ネタの出どころは
人に聞いたでも
何でもい...

お前の体験を
先生に話して
売れる本を
書かせろ!

あっ!...

それが先生のためだ!

あ...あ...

ダメです...鶴野さん...

それだけは...

あああつ!

ガッ



あつ!

ダメっ…
抜いて…

酷いです…

こんな…あつ!
あああつ!



ん…

嫌あああつ!!



ああ——ツツ!

あつ!



ひあつ

ああつ!



浮気相手に殴りかかる
なりを想像するはずだ…



大抵誰もドアを開けて

こんなとき…



うっつ!!!

あの時あいつを
殴り倒しておけば...

High Fidelity
まだ間に合ったかも
しれない...

でも俺は...

うちの
ケーキヤさん

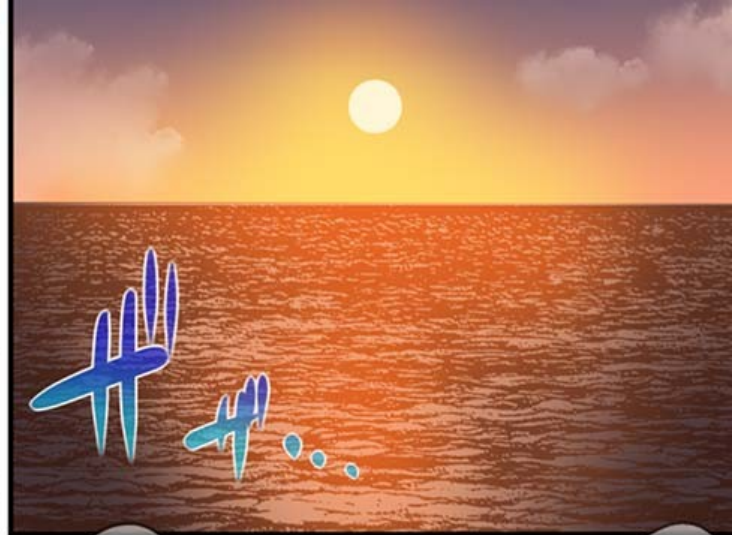
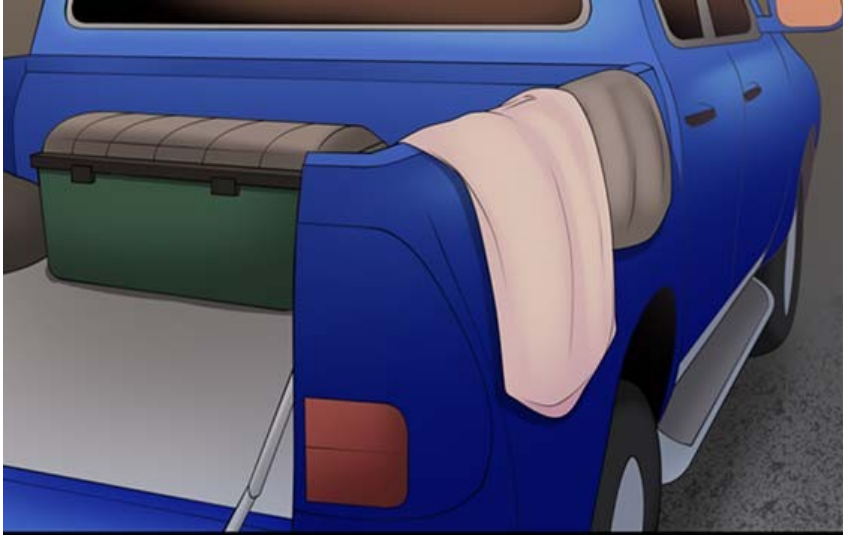
俺は



あいつ
鶴野と一緒に
いるのか？

雪音ちゃん...
もしかして...





あすみません！
私の服乾かして
下さったんですね！

ありがとうございます！
ございます！

下着はそのままなので
まだ変な感じですけどね



塩水はベタベタ
するしな…

サーファーの
必需……！！



鶴野さんお水と
タオルと…

シャツありがとうございます
ございます

おう

おかげでさっぱり
しました

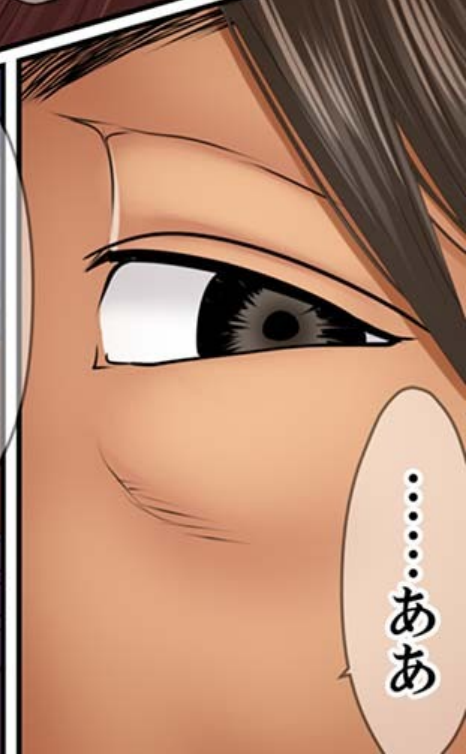


さすが現役の
サーファーさん
ですね！

うわあ…
夕日がかっこいい…
こんな良い場所を
知ってるなんて…



もう乾いてんじや
ないかな



……ああ

雪音だから
連れて来たんだぜ



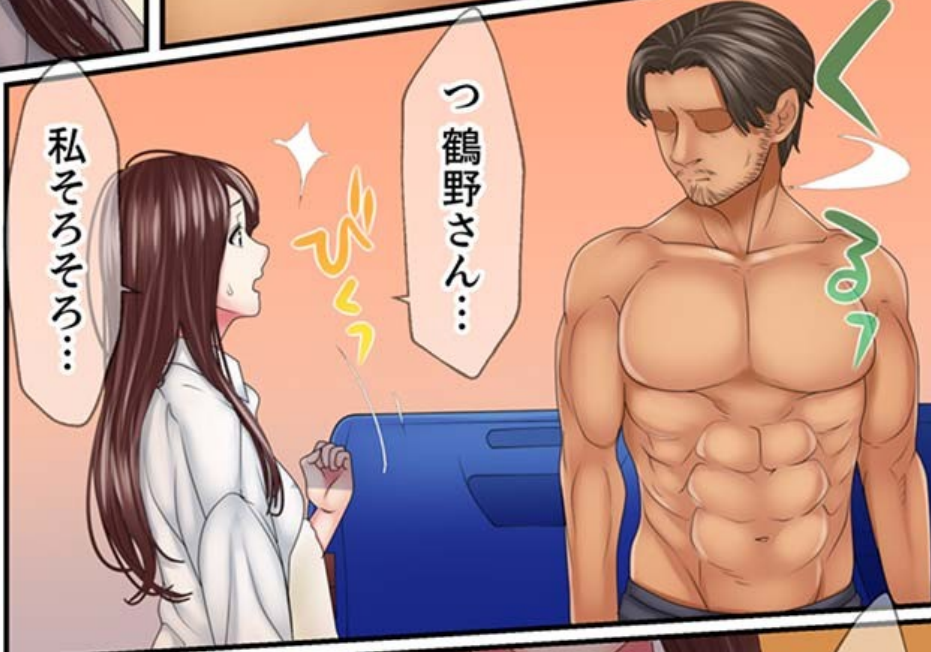
.....あ.....



く
る

つ 鶴野さん...

私そろそろ...



帰らないと...



ああの...



鶴野さん...?!





こんなのおかしい！

鶴野さん！

やああつ！！

ズルルッ

ズルルッ

やつ...

あああ...

あつ！

ああ〜つ！！

あつ！あ...
やめて...

ダメっ！

ダメっ！

あうっ！

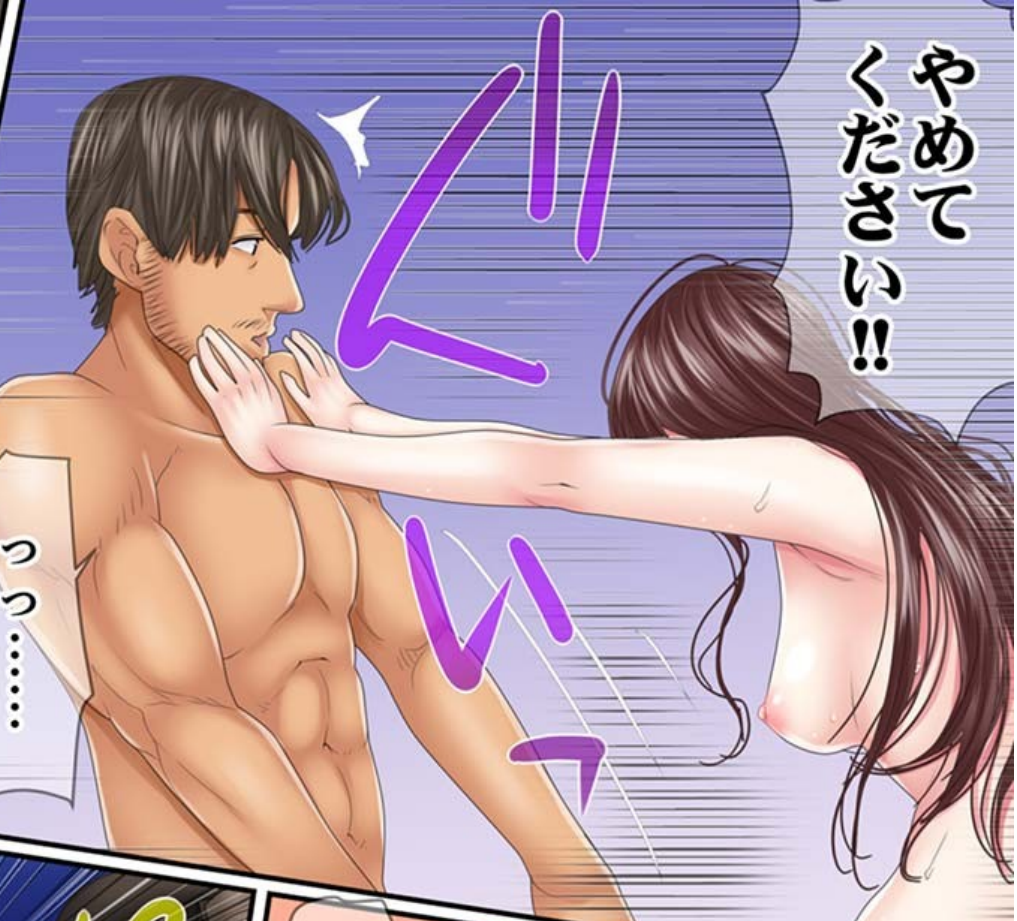
んはああ！

お願い...

〜っ〜っ〜っ.....

しゅっしゅっ

ぬちゅっ



やめて
ください!!

っっっ...



知之さんが…
好きなんです…

ごめんなさい…



知之さんからだ…!!



!!



すみません!
電話に
出ないと…

ばー



えっ? ありがとう
ございます!

うろん? 洗濯物
入れといたから...

ごめんなさい!
遅くなつて
しまつて...



もしもし!

雪音ちゃん?
まだ帰つて
来ないの?

...あ...



パスタ!
わかりました!

じゃあ
もうこれから
すぐに...



もうこれから
帰るところ
なので...

晩御飯
には...



何が食べたい
ですか?

はい!
はい!...





鶴野さん…!!!



えっ!や…



何して…!!!

ちよ…
あああつ!!





スマホ……!!

スマホ……!!



こ声……
聴かれ
ちやった!!

どうかしたの？



雪音ちゃん？

……？



何を考えてるの!?

な……



上手く言い訳
するんだ

……!?



雪音……そのまま
先生と話せ



鶴野さん!!



声が…! んぐっ! んぐっ!

うっ!

うっ!



ふふふっ!!…!



あぁ!! ぐわっ



んぐっ!

んっ!



んふっ!

っ!!

ふっ!

知之さんに聞かれちゃう!!



どうした?
このままじゃ
先生にバレるぞ?

何か言い訳
を考えろ!

そんな…!!

バシる...!?

知之さんに...
バシる...!?

んっ...

ん...

それだけは嫌!!

んぶっぶっぶっ!!
ゼクゼクゼク

足を?...
大丈夫?...

あ...知之...さん?

なんでも...
ないんです!

足を...んっ...
くじいて...
しまつて...

行くらうか?

迎えに...



友達が…車で送ってくれますから…

わからなかった…

それに…



大丈夫です!

自分の中のこの感情が何なのか…

知之さんっ!…



だから…

悪いでしょう? おっ…お酒が…

まだ抜けて…んっ!



だが俺はとっとうっ

……



「旦那…き切りますね! もう帰りますから…」

ぐ具合が!…

そのっ!…

気づいてしまった...

自分の中に生まれつつある...

ほあ
ほあ
ほあ

オオオオオオ
オオオオオオ
オオオオオオ

いびつな性癖に...

ご褒美に気持ち良くしてやるよ

あくっ!

あっ!

んああっ!

これっ...
ダメええっ!

ああ〜っつ!!

ああ—っつ!!

またネタができたな

上手いこと
言い訳できた
じゃないか...

オオオオ
オオオオ
オオオオ

オオオオ
オオオオ
オオオオ
オオオオ
オオオオ
オオオオ
オオオオ
オオオオ
オオオオ
オオオオ



あああっ！

あっ！...

鶴野さん...
ももっと...
ゆっくり...

ほっ

ほっ

はっ激し...



雪音.....

ほあ

ほあ

ほあ

止まんないんだよ...

腰...気持ち良すぎて...

っっ...



雪音...うっ...

...もうイク...

ほお
ほお

ダ...ダメっ!

ダメ!
ダメっ!

中はっ...

ほお
ほお

あっ!







『いやありがとう!』

『先生 新作10万部
突破おめでとう
ございます!!』



なんかもうビジネス
通り越して友人レベル
だよな僕ら...

そうだね...
この店に二人で
来るの何回目
かな?

僕が担当
やらせてもらって
3年ですか?

なんか感慨深い
ですね...



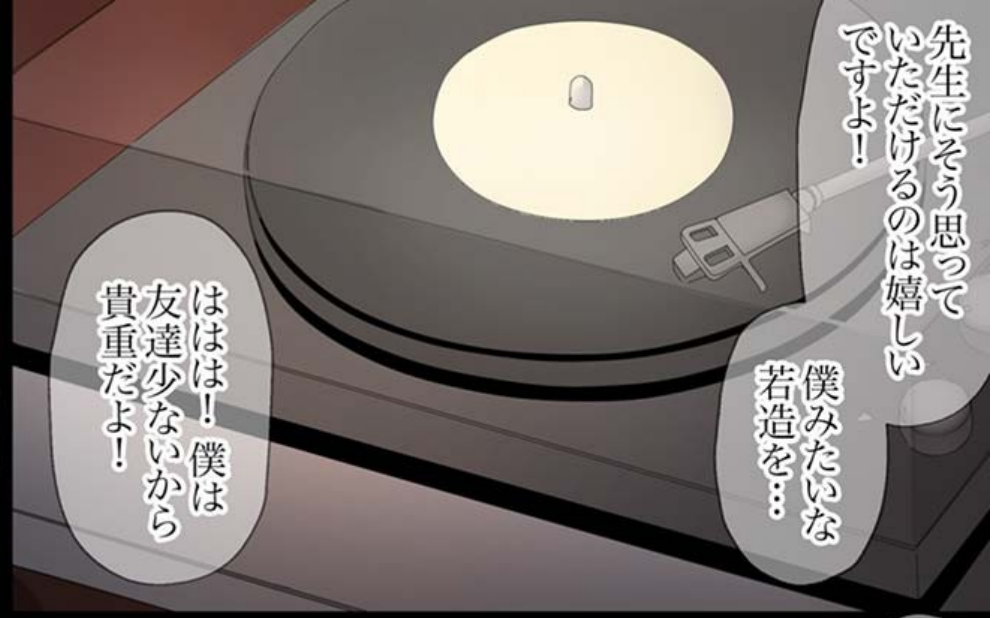
君のおかげだよ
鶴野くん!

いえいえ
とんでもありません



まだ結婚とか
しないの？

若いっつても
もう君も30
だろ？



ははは！僕は
友達少ないから
貴重だよ！

僕みたいな
若造を…

先生にそう思って
いただけるのは嬉しい
ですよ！



僕なんていいんだよ
今に満足してるしね

そんなに得意
じゃないんだ
恋愛とかさ



先生ならファンだつて
沢山いるんですから
選び放題でしょうに

それを言うなら僕より
先生でしょう



…まあ…

います



こう見えて僕は
一途なんですよ
仕事も恋愛も

おっとー？…

それはまるで
気になるコが
いるって口ぶりだなー



趣味でサーフィン
なんてやってる
じゃないか

いやいや…

それより鶴野くんこそ
モテるだろ？
会社でも外でも

スッ

そっかだ…

僕は知っていた…

彼の雪音ちゃんへの
気持ちを…

知っ
てい
なが
ら…

『高橋先生』

『せんせっ』

『知之さん…』

奪ったのは…

確かに僕の方だ

…だけど!!

『先生の作品はコアなファンにしかもうウケない』

ズルズル

『雪音さんとも意見を
出してもらいましょう』

『不倫ものとか
どうでしょう?』

だったらその喧嘩…

僕への復讐か?

…これは嫌がらせなのか?

いったいどういう
つもりなんだ…

僕なりの
やり方でね…

買っちなぞ



彩夏は相手の男と共に古

直人は自分の予感が現実

震える拳を落ち着かせると

一歩一歩と早く進むの



ただいま...

知之さん...



入ってもいいですか？

どうぞ

あの...遅くなってすみません...今帰りました

...すぐに晩御飯の準備しますね！

...うんありがとう



ペペロンチーノでいいですか？

カタ



うん...あ...

そらだ雪音ちゃん...

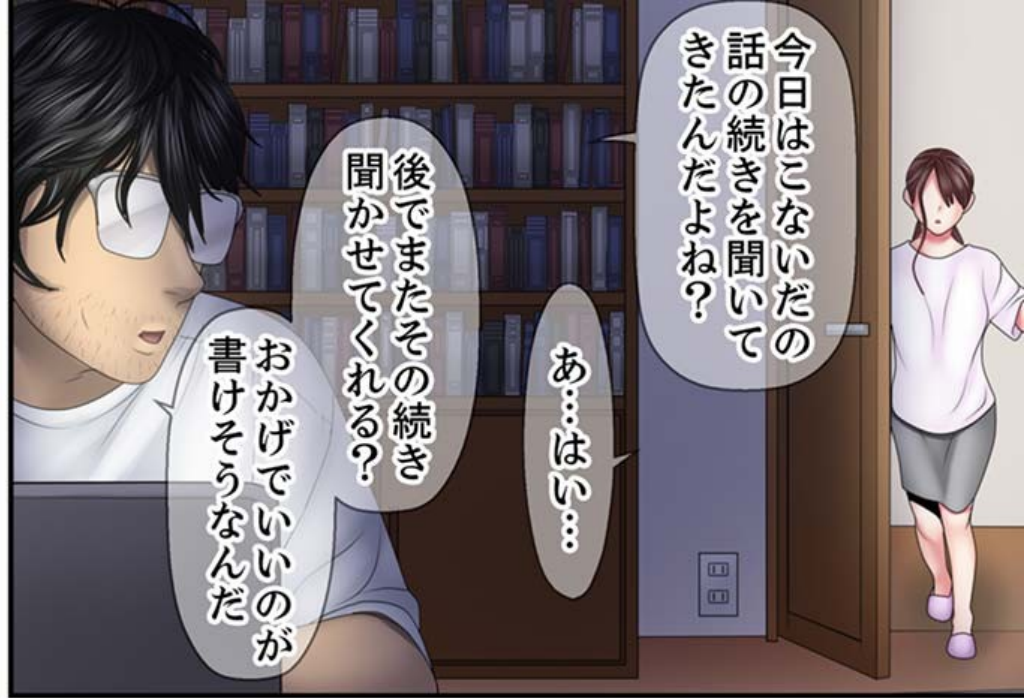
あのさ...



はい！

何でしょう？





彩夏の両脚は大きく広げられ
男の頭が小刻みに揺れるたび

「あっダメです……」

言葉では男の行為を拒否し

ビクビクと両脚が震え顔

直人を激しい心の痛みが

彩夏を憎いと思う気持ち

彩夏を愛おしいと

直人は一

向からは彩夏
○スが入り
やぴちやと卑猥
を伝い、カウチを伝



送って
やった……

これで
鶴野も……

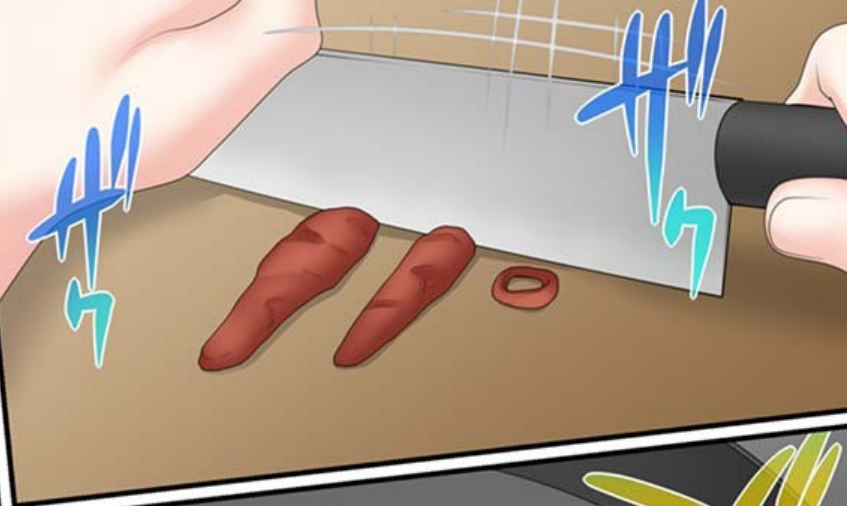




何だか知之さん
変だったな...

仕事の時はいつも
ピリピリしてるけど...
もしかしてバシて
るんじゃない...

雪音ちゃん



危ないですよ!
油が...

知之さん??



と知之さん!?

キヤッ!!

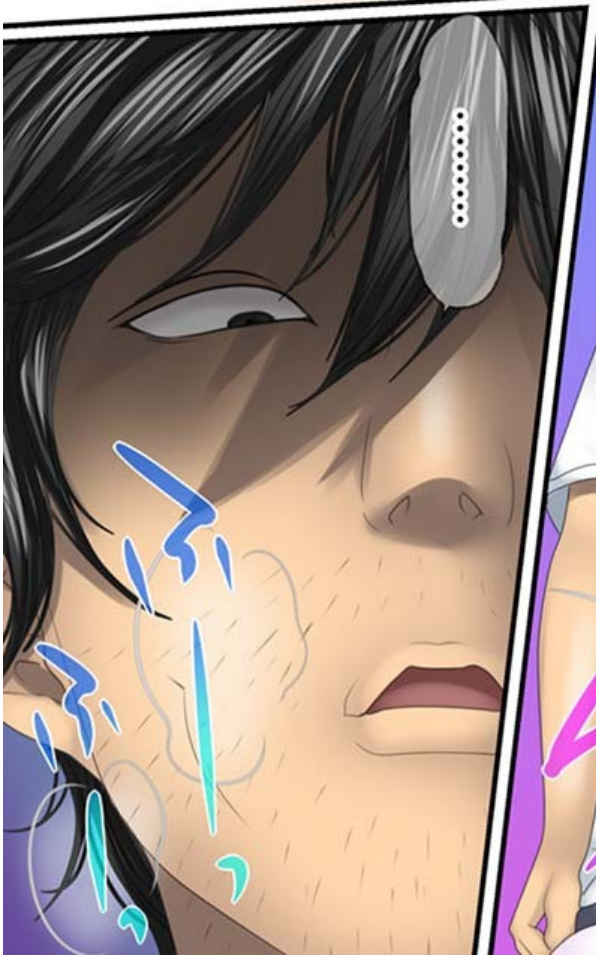


ちよ...

待って
.....

何を...





!

グイー

カカ

ダメじゃ...

...ダメ?

やっぱり...
バシてるんじや...

ないですけど...

もしバシているなら...

んあゐ...

んっ...

ゼッ

どういふこと
なんだろう...

大うきい...

.....

こ...興奮してる...??

知之さんのすごく硬い...

んっ...

カカ

んっ...

こんなふうになるかな...??

カカ

...んっ...



入れるよ

ぬちゅ

あつ!!

あつ!!

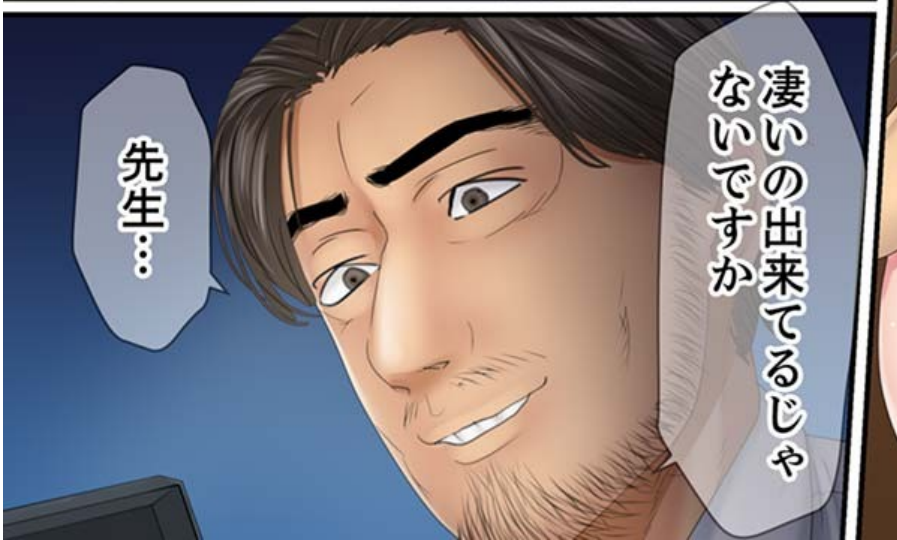
「き、気持ちいい……」
彩夏は恍惚の表情を
こんなに彩夏の顔を見
直人は見たことのない
「そんなにアソコ締め
「だって……気持ち良
巨人とのセックスでは
ほら、もっと突いてお
めんっ! あんっ! ……



あ…つく…

…んっ! ……

き…気持ちいい…!!



凄いの出来てるじゃ
ないですか

先生…



ああっ

イキます...あっ!...

イク...

あっ!

ううっ...!

あっ
あっ

あっ
あっ



はあ...

はあ...

はあ...



おどろく

ハッ



ん.....



ゼ

ゼ



はい高橋です

あおはよう
ございます！
鶴野です

もしかして
寝てらっしゃい
ました？

うんでも
大丈夫だよ



00:00 66%

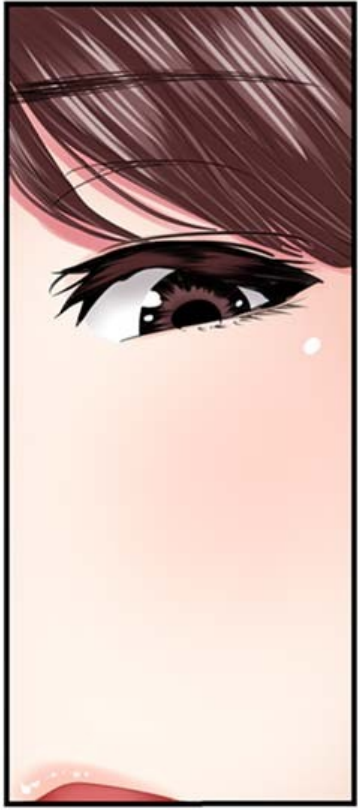
XXX-XXX-XXX
鶴野さん

拒否

...鶴野からだ！
応



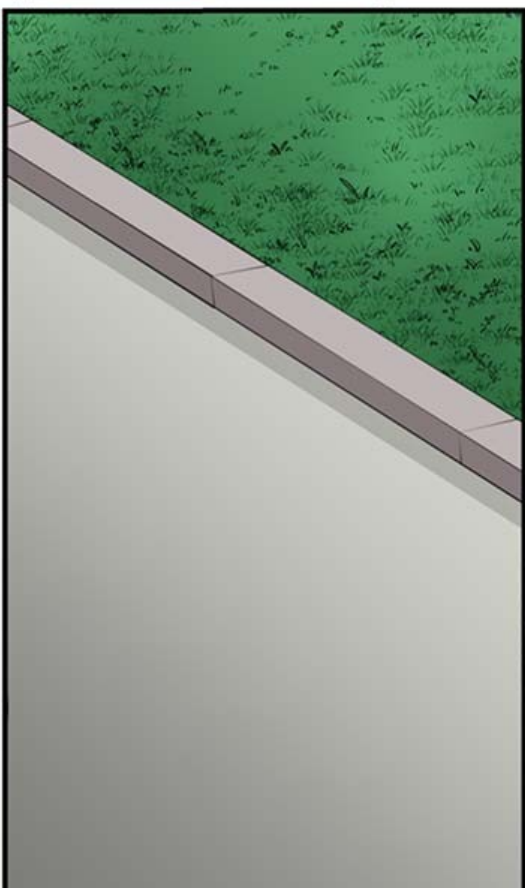
それから
3週間が過ぎた



あの一件以来
鶴野さんから何の
連絡も来ていない



私…
何想像して…!!



雪音！出て来いよ

お前の行きたいところ
連れてってやるよ



朝ごはんは…

あ知之さん！
おはようございます



ご飯準備
しなくちゃ…

そろそろ知之さん
起きてくるかな…？



最近知之さんとは
なんとなく距離ができた
気がする…

あ…はい



ああいいや
いらない

ちよつとまた
ネタ考えに
外出てくるね



…このところ
こんな調子が
続いている…

ごめん…何か
調子悪いや…

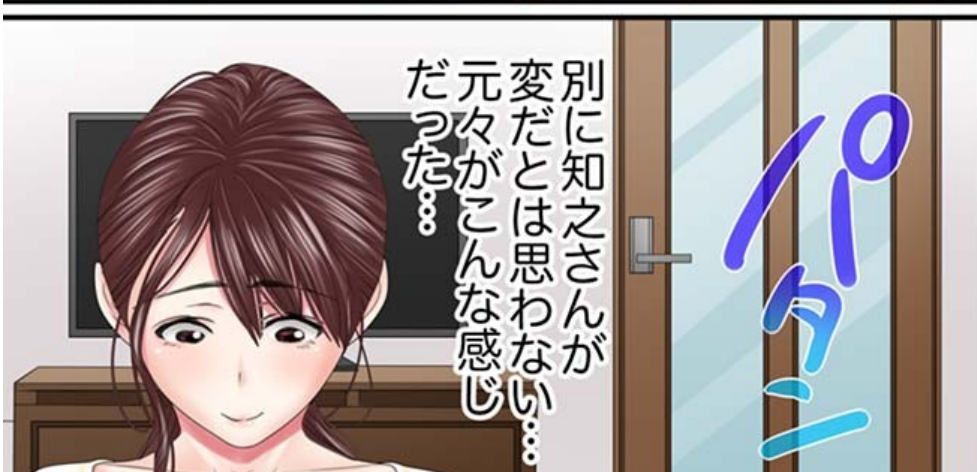


あれから何度か体を
求められることも
あったけど…

あつ

あん…

あつ…



別に知之さんが
変だとは思わないが…
元々がこんな感じ
だった…

パタニ

知之さんは…



一般的な男の人と
違うのかも…

それは何となく
結婚前から思っ
ていたことだ…

セックスよりも
心の繋がりに強い
美徳を感じている



それは作品にも
表現されているし
それで売れできた

紳士的な態度が彼の
魅力でもあった



んっ…

あ…

私は違う…

あっ…



性に興味を持つのも
早かったし…

知之さんのいない間

何度もこうして自慰を
していた…

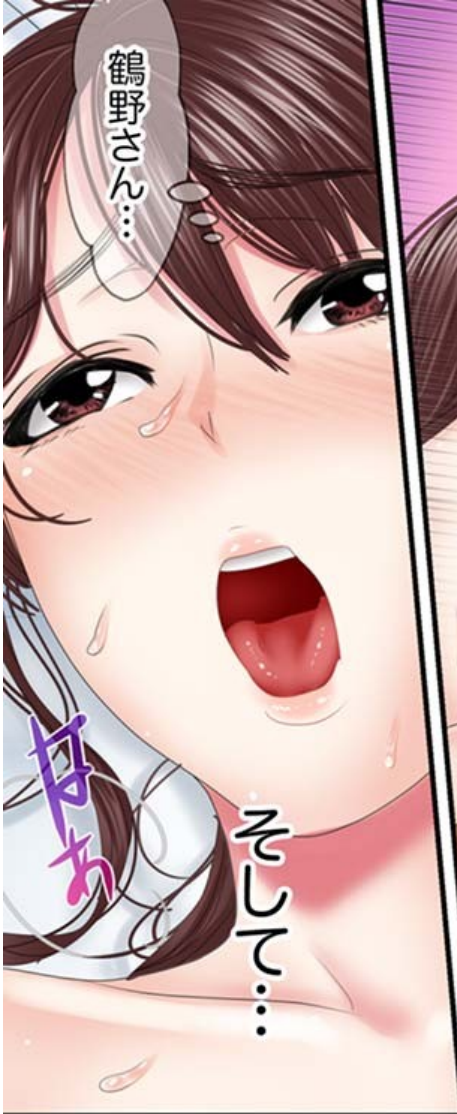


んっ…

っは…

あっ

あっ…



鶴野さん...

そっか...

甘あ



知之さん以外のセックスを...



ただ知らなかったのだ...

ほあ

あああつ!

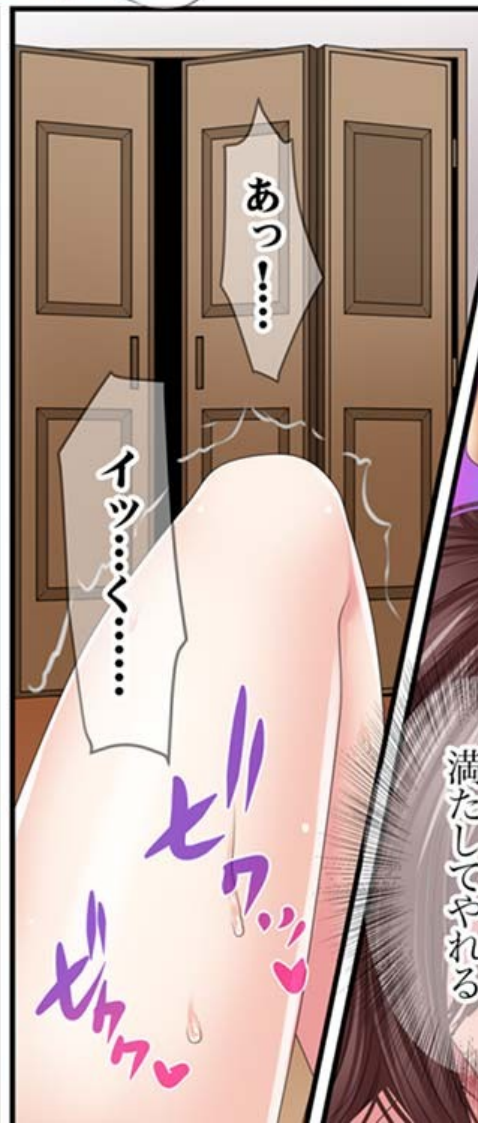
奥... 欲しい...

指じゃ 足りない...



あああつ!

ああんつ



あつ!...

イツ...く.....

セッ... セッ...



俺の方が...

ときめきを...

お前の心も体も 満たしてやれる

まだ潤んだピンク色の
二指を当て中指と薬指を
らしく潜り込ませた。
あつ...は...あん...
ん...あ...ふう...
、彩夏の頭の中をどんな妄想
支配しているのだろう...
彼女が

タ
タ
ッ



鶴野を想像して
いるのか!?



あ...ふう...
う...ん...

もぞ

もぞ



んあつ...

くちや

は...あん...

ほあ

ほあ



鶴野を...

っ!!...

ああつ...

あ...

ほあ

ほあ



ほあ 彼女がオ○ニ○をするなんて
...いや違うな...

鶴野...さん...

んああっ



はんっ…

くちゅっ
くちゅっ

あっ…

あっ…

突然体を
求められて…

本心もわからない
ままなのに…



くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ

あんなに…

頭の中は…



はっ…あっ…

くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ



くちゅっ



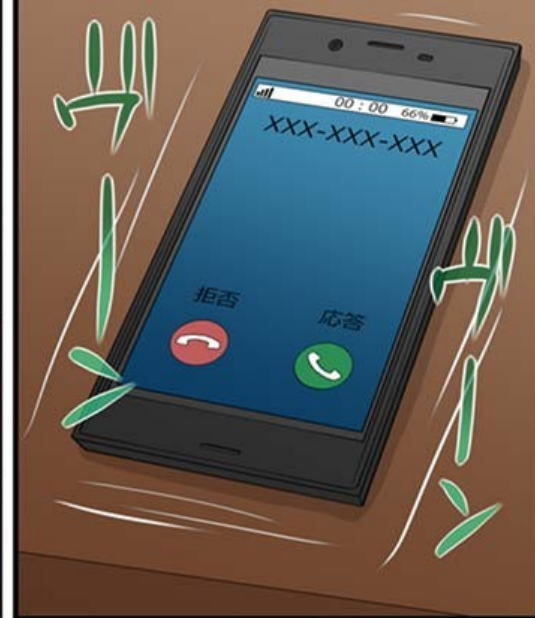
はあ

はあ

鶴野さんの事ばかり…









おはよう
雪音ちゃん!

あおはよう
って...もう
こんにちはですよ

カ
カ
カ...



ト
ク
ッ

は...えっ?

あと1時間で
鶴野君が打ち合わせに
来るからね



ふふふ...

動揺
してる...

大丈夫かい?



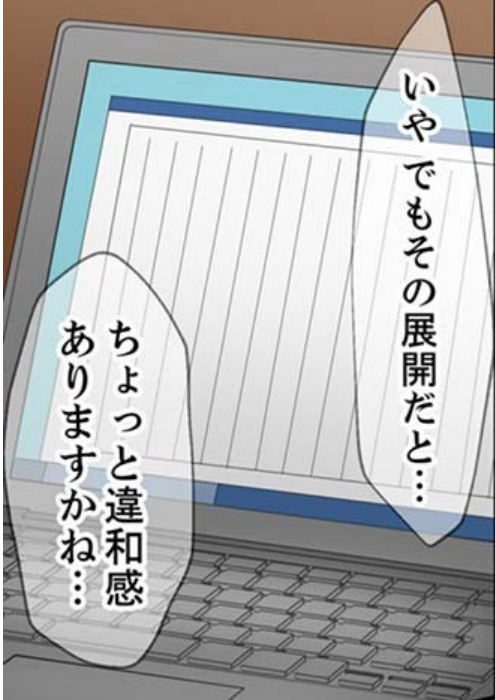
あ...

ごめんなさい
その...ビツクリ
しちゃって...
知之さん髭が
ないの久しぶりに
見たから...



あ...!!

カ
カ
カ...



いやでもその展開だと…

ちよつと違和感
ありますかね…



そこで彩夏と
直人が…



直人は彩夏や不倫相手を
憎んでいるのでは？

なるほど…
あえて告白ですか…
…でも…



だったらこういうのは
どうかな…？

彩夏が不倫をしていることを
直人は知っていると告白するんだ



なんだか…

な…



直人は不倫現場を
見させてくれと
懇願する

実の妻にね…



普通修羅場に
なりますよね？

その後は…



そこが
わかんなくてさ...

どういう反応が
正解なんだろうね...



すごく居づかい
この雰囲気...

どうして
私まで...??

その発想は
なかったかも
しれませんがね!

しかし奥さんは
怒るか...
傷つきますよね
...??



キラ

.....



ちよっと休憩
しよう...

飲み物
取って来る

ああの
私が!...



えっ!?

キーン



どういふ反応
する?
雪音なら...



不倫してくれと夫に
頼まれる...

それを言われたら
普通は...



お酒飲むつもりですか？

鶴野さんはまだ
仕事中ですよ？

ドン

この後も仕事があるのかい？



さあ！

ええっ!?

煮詰まった打ち合わせは飲んで話した方が進むだろ？

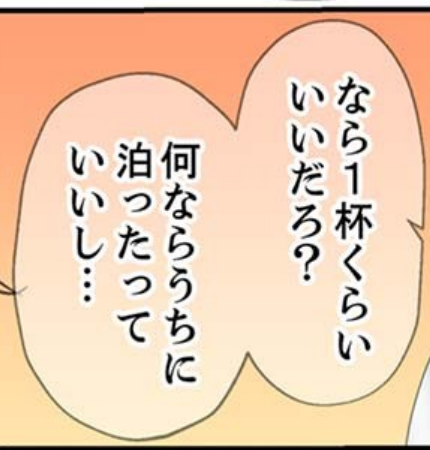


わ…

わかりません…私…



と知之さん！



なら1杯くらいいいだろ？

何ならうちに泊ったっていいし…



まあこの時間ならもう自宅に直帰ですね…



どうして知之さんの方からそんなこと…



いいえ私…

どうして…??



良いワインを買ったんだ…

雪音ちゃんもほら！

つ 鶴野さんの都合も
考えないと...



ご迷惑ですよ...

じゃあ一杯だけ
いただきます



せっかく
ですから...

その代わり...



仕事はきっちり
して帰りますよ?

そう来なくちゃ!

ん

乾杯!



気持ち
もたないよ...



これ以上この空気が
続くなんて...

この前あんなことになった
鶴野さんまで同じ空間にいる...



ん

ん



ただでさえ
知之さんと
気まずいのに
.....



私は弱い
ですし…

いいじゃないか!
外じゃないんだし

一杯だけ…

でも…



雪音ちゃんも
ほら

え…



あっ…

じゃじゃあ
私が…



先生無理は
良くないですよ

その分は
僕がいただきます
んで…



…あ

ト

今日はこれでお終いかな

そろそろ帰ります

あ……すみません今日はせっかく来ていただいたのに……

パン

結局知之さん寝てしまって……

いつもはこれくらいじゃ寝ちゃうほど酔わないんですけどね……

知之さん！
知之さん！
鶴野さん
お帰りですよ！

うん……

すみません
ホント……

いいさ疲れが溜まってたんだらう

俺が先生を寝室まで連れてくよ

ほら先生……

ん……うん……





どういうつもり
なんですか？

教えてください…



おい雪音…

考えすぎて
辛くて…

遊ばれてる
だけかな？
とか…



鶴野さんにとって
何なんですか？…

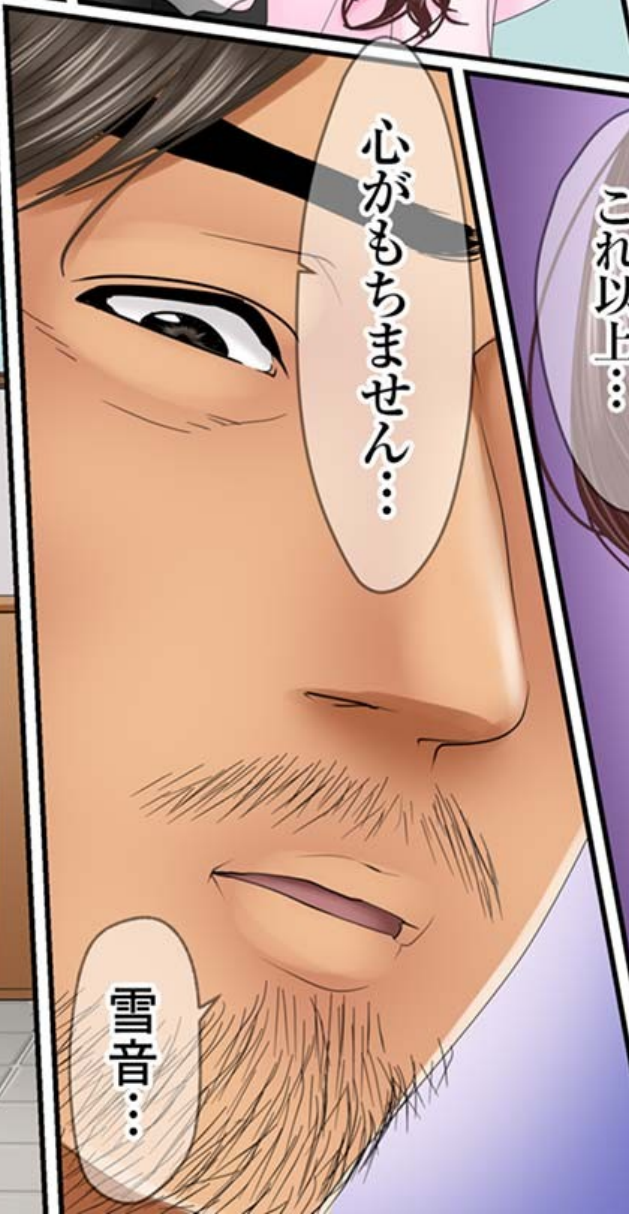
ただの火遊び
ですか？…

ずっとそればかり
考えて…



お
キ
ヤ
マ

悪かった…



心がちまません…

雪音…



はっきりして
欲しいんです…

でない私…
これ以上…



雪音の事がずっと好きだった

先生が雪音と知り合わずと前から...



雪音を先生から奪う方法...

私を...脅して襲うのが...?



だからこれを思いついた...



雪音はただ...

俺に襲われたんた



悪いのは俺...



そりだ...

だからお前は何も悪くないんだ...



声…出しちゃダメだ…

あっ…

んっ…



潔く遊びだと言われた方が諦めがついたのに…

あっ

ううんっ!

っは…



鶴野さんとは
終りにする気
だったのに…

んっ!…く…

んっ…

んっ



彼の言葉で私の心は
容易く傾いてしまった…



『雪音の事がずっと好きだった』

はあ…

あ…



直人の体温が残る
ソファの上で—

直人の体温は
ソファの上で
残り

挿れるぞ
雪音...

あっ

あ...

彩夏は男のイチモツを
受け入れる...

は...はっ...

んあああっ♡

あっ!

あっ...っぐ...

挿入しただけで
オーガズムに達した

身を仰け反り
震わせながら
彩夏は—

あんっっ...

はっ!...
あああっ!...



ふあああつ!

あつ!!!

ダメっ!
声...

出ちゃうっ!...

あああつ

はあ

はあ

鶴野...さん
もう少し...

ゆっくろ...

あつ!

ああんつ



はあ

はあ

雪音のカラダ...
全部ちゃんと
見せて...

は恥ずかしい
です...



雪音...
来て...

あ...

服脱いで...



.....

あ
ん
た
ん
た
ん

しかしこの快感と憎悪…

あっ！イク…

イクううう！！…

嫉妬が入り混じった
カオスこそが…

あああっ！！…

私の中の禁断の性癖を
満たしてくれるのだった…

あっ！
あっ…

雪音…俺も…

俺ももう…！！…

中につ…

雪音の中に
つつ…！！…

とうとう妻の中に
男が射精をする瞬間…

襲ってくるのは
怒り嫉妬憎悪…

あっ…

鶴野さん
つつ…！！…

凄まじい心の痛み…
そして興奮！！

ほあ
ほあ
ほあ

雪音つつ！
出る！！…

それを超えると…

あああっ！！…



あっ！

ああんっ...

ゼンゼンゼンゼン

得も言われぬ快感が訪れるのだった...

はあ...
はあ...



じゃあ俺
そろそろ...

あ...



遅くまで
引きとめて
ごめんなさい

はい...

...

週末空けとけよ
デートしようぜ

ボニ

海はさすがにもう
寒いけどな

どっか遊びに
行こうか映画とかさ...

はい!

おやすみ
なさい...

じゃあまたな

カチャン

.....



『俺に襲われたんだ…』

『雪音はただ…』

『お前は悪くない…』



鶴野さんと…会う約束
までしてしまった…

終わりにする
つもりだったのに…

シャワー



鶴野さんの言葉…

あれって
要するに…



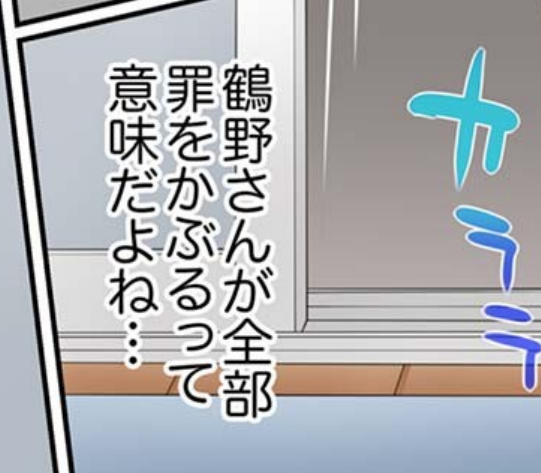
あんなこと
言わせるなんて

私って嫌な女かも…



もし知之さんに
バしても

キュッ



鶴野さんが全部
罪をかぶるって
意味だよ…

カラッ

嬉しそうだね
雪音ちゃん…



と知んさん!?



えっ!?!?



僕たちの愛は完全じゃ
なかったんだね…



あんなに愛し合ってる実感が
あったのに……



悲しくてやりきれないよ……

あんなに…





To be continued